

【議会報告会 ～議会とミーティング～ 報告書】

(地区：桜が丘) 担当：2班

- ・開催日時：令和元年8月24日(土) 午後6時～午後7時15分
- ・場所：桜が丘集会所 ・参加者数：32人(男22人、女10人)、
- ・担当議員名：重光 俊則(班代表・記録)、二見 裕子(進行)、江川 慶子(記録補助)、
坂上 昌史(挨拶)、大林 隆昭(報告)

～質疑応答・意見交換における主な発言～

(質問) 元教師の立場からも少人数学級は非常に大事であるが、少人数学級の実現を求める請願が多数の議員で不採択となっているが、その理由は何か？

(回答) (反対した会派の意見) 少人数学級の実現には教員9人の採用が必要で、年間5400万円必要で、町単費で実施するには負担が多く、少人数学級の実現の補助金の確保の意見書を国と大阪府に提出しようとしている。

(賛成した会派の意見) 少人数学級の実現は子どもたちにも教師の負担軽減にも大事であり町単費でも実施する必要がある。

(質問) 少人数学級を実現できないほど熊取町の財政は厳しいのか？

(回答) 来年度から会計年度任用職員の待遇改善で年間1.8億円費用が増加する。それに対する国からの補助金交付はどうなるのか不明である。そのほか幼児教育でも町の負担がふえる状況にある。

(質問) 昨年度のふるさと納税は大きかったが、今年はどんな状況か？

(回答) 返礼品が地場産品だけになったので大幅に減少している。何とか増やすための努力をしていく。

(要望) 元教師の経験から習熟度別クラス編成の効果は上がりず少人数学級が望ましい。熊取町での実施実現に努力してほしい。また、教職員は講師採用でなく正職員にしていきたい。

(要望) 台風21号により憩いの家が破損した。再発生しないよう雨戸を取り付けてほしい。

(要望) 藤原町長のマニフェストが出されているが、熊取町の方角性が示されていない。若い人に希望と夢を与える方向性を示してほしい。

(要望) 高齢者と地域の健康寿命を伸ばすタピオの活動に補助金を出していただきたい。

(要望) 町内の福祉団体との協力を含めて、駅前や病院にも行けるようひまわりバスの利便性を向上してほしい。

(要望) 「子育ての町くまとり」を実現する施策を展開していただきたい。